2018 年度　ＦＤ活動報告

人間社会システム科学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・人間社会システム科学研究科教育運営委員が主体となり，当該研究科全体の FD 活動を実施している．

・TA 研修，授業内容に関するアンケート，修了予定者アンケートを実施し，その結果を研究科教育運営員会で共有し，FD 活動を促進している．

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2018/5/10, 2018/5/27	大学院生向け研究倫理審査申請説明会	研究倫理委員会	22
2019/3/28（研究科連絡会議後）	大学院生，学部生，研究生を対象としたキャンパス・ハラスメントに関する調査結果の共有	学生委員会	73

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
研究科教育運営委員会	FD 関連事項の有無は開催月による	10	10

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー･委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	５人　／　５人中（臨床心理学分野）

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	1	5	単なるピア「参観」にとどまらず，複数教員が授業計画作成，運営，実施後の意見交換など綿密に実施している（科目によっては専攻横断的に実施）．この他，他の教員の授業を随時参観している．また「人間社会学特別演習Ⅰ」，「人間社会学特別演習Ⅱ」，「現代システム科学特別演習 2」では全体発表会が実施され，専攻の教員が参加し，他の教員と経験交流の機会を持った．
後期	1	5	
年度合計	2	10	

６　その他取り組みの具体的実施状況

1.　TA 研修（授業の参観，レポートの提出）を実施した．TA 研修で提出されたレポートで，

授業担当者のFDとして有用と思われる指摘などについては，発言の自由を確保するため，別ルートで当事者に伝える体制を整えている．

2. 授業内容に関するアンケート（自由記述方式）を全分野で実施し，結果を教育運営員で共有した．また，授業担当者にアンケートの内容を伝えた．
3. 修了生アンケートを実施し，研究科としての対応を研究科長に求めた．そのなかで各専攻において対応すべき点は，各専攻主任において対応することにした（現シス専攻）．
4. 専攻横断的授業に関して，授業担当者任せでなく教育運営委員会課題として調整した．
5. 臨床心理士・公認心理師科目の履修にあたり学生の利便性を高めるために，標準履修課程の見直しを行い，2科目を追加した（臨床心理学分野）．